

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ Support for the aged person and support system for care insurance system Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得 必修 社会福祉主事任用資格に係る科目)	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰの単位取得者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
中島 佳子	栄養棟3階	月曜～木曜の授業以外の時間		授業中に指示します
授業の概要				
「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」では、具体的な高齢者ケアについて学び、専門職としての視点や対応方法を身につける。そして終末期を見据え、要支援・要介護高齢者とその家族の福祉・介護ニーズに応じたサービスを効果的に提供できるようになることを目的とする。				
授業の目標				
①高齢者を支援する専門職とそのチームアプローチについて説明できるようにする。 ②高齢者を支援する専門職の一員として果たすべき役割・特徴を述べるようにする。 ③介護の概念や対象および介護過程における介護の技法や介護予防の基本的考え方について説明できるようにする。 ④終末期ケアの在り方について述べるようにする。 ⑤高齢者の権利擁護について説明できるようにする。				
授業の方法				
視聴覚教材、配布資料を使用した講義形式で進めるが、学生の理解を深めるため演習を取り入れることもある。				
学習の成果（学習成果）				
高齢者を支援する専門職の役割を理解し、具体的なサービス提供について述べるができる。 権利擁護、終末期の支援のあり方を捉える。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション（授業の目標と進め方、成績評価についての説明、諸注意等）、福祉用具の活用			
第2回目	高齢者を支援する専門職の役割と実際①（専門職の職種と役割）			
第3回目	高齢者を支援する専門職の役割と実際②（チームアプローチ）			
第4回目	地域包括支援センターと地域①			
第5回目	地域包括支援センターと地域②「地域包括支援センターの活動～社会福祉士の立場から」 外部講師：社会福祉士 佐藤清子（所属：佐野市地域包括支援センターくずう）			
第6回目	介護の概念と介護予防（介護過程含む）			

第7回目	認知症ケア①	
第8回目	認知症ケア②	
第9回目	認知症ケア③	
第10回目	高齢者虐待と虐待予防の取組み①	
第11回目	高齢者虐待と虐待予防の取組み②	
第12回目	終末期ケア	
第13回目	高齢者福祉の今後の課題（1）	
第14回目	高齢者福祉の今後の課題（2）・試験	
第15回目	国家試験の動向と対策	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	以下の視点で判断する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートを取り、学んでいること。周りに迷惑をかけるような態度は、減点対象とする。
レポート	10%	第4回講義についてレポートを提出する。評価Sは、講義内容のまとめとそれに対する自分なりの感想が述べられており、適切な表現で文章に誤字・脱字がないもの。また様式が守られているものとする。
調査報告書		
小テスト		
試験	70%	○×形式、穴埋め、記述式で出題し、知識及び内容の理解を確認する。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
高齢者に対する支援と介護保険制度 I と同様		
履修上の留意点・ルール		
私語、携帯電話の使用を禁止します。授業に関係のないもの（携帯電話、食べ物、飲み物、化粧品、手帳）はかばんにしまうこと。 配布資料のデジタル化禁止。他者に迷惑をかける行為があった場合は、退出させることがあります。		